



Joyful JN Naturalist



Contents

- Topics
 - 〈特集1〉いるか丘陵とことん巡り2009・鶴見川源流編XI
 - 〈特集2〉源源流・どんぐり学習
- NPO法人鶴見川源流ネットワークプロジェクト活動
- 鶴見川源流ネットワーク参加団体活動
- 11月、12月の活動報告
- 1月、2月の活動予定

No.173

★源流保水の森・生きものたちの賑わう谷へ



源流流域展望点・初日の出

yamane



野中谷戸のランドマークツリー

アカメヤナギの巨木 kishi

2010年。快晴の年明けとなりました。早朝、町田・多摩・八王子三市の接する展望点に駆け込むと、すでに初日は雲を抜き、東南東、直線距離30kmの鶴見川河口・東電天然ガス発電施設の二本の白い塔の脇の雲間に、燦燦と輝いていました。眼下は、最源流田中谷戸と並んで流域頂点に駆け上る〈野中谷戸〉。昨年来、水循環調整を軸に、ホテルの水辺再生、散策路整備、雑木林再生、アレチウリの除去作業と、NPO源流ネットによる集中的な受託（町田市）作業が進み、みごとな地形、緑の世界が出現中。再生作業の先行する田中谷戸と合わせると、整備のすすむ源流保水の谷戸山の総面積は40haに近いはず。名古屋で生物多様性条約cop10が開催される今年を大きな節目として、その全域が、源流ネット事務局、スタッフ、業務スタッフの献身を通して、鶴見川源流最大の自然拠点として、開かれてゆきます。変わらぬご支援、今年もよろしくお願ひします。

【文：npo源流ネット・岸 由二、写真：深見】